

## 1、ワークショップの目的

新山口駅は、「山口県の玄関」であり、「山口県の顔」です。しかし、近年モータリゼーションの進展により鉄道やバスを中心とする公共交通機関の利用客は減少し、駅及び駅前空間は元気をなくしています。一方、エネルギー問題や、3・11の大震災に直面して、これからのまちづくりは大きく方向転換が求められています。従来の交通の結節点としての役割からまちづくりの拠点として駅の役割は大きく変わりつつあります。新山口駅表口広場づくりは、新山口駅を含む小郡都市核形成において極めて重要な意味を持った計画です。これまでのように行政主導の計画策定の手法ではなく、市と市民と設計者が協働して、力を合わせて魅力的な駅前広場をつくりたいと考えています。

駅空間に市民が主体的に利用出来る機能をどのように盛り込むかについて、広くアイデアを出し合い、計画に反映させながら、世界でここだけの駅前広場をつくりあげていきたいと思っています。そして、竣工後の運営に市民が主体となり関わり、新しい市民の活動が生まれることを期待しています。

みんなで知恵と力を出し合いましょう！

## 2、計画全体の流れ

